



保 発 1 1 2 9 第 3 号  
平成 2 2 年 1 1 月 2 9 日

都 道 府 県 知 事 }  
地方厚生 (支) 局長 } 殿

厚生労働省保険局長



「柔道整復師の施術に係る療養費について (通知)」の一部改正について

標記については、平成 2 2 年 5 月 2 4 日付保発 0524 第 2 号通知により実施しているところであるが、別添 1 別紙及び別添 2 のそれぞれの第 4 章 2 3 (6) の改定が平成 2 3 年 1 月 1 日の施術分から実施されることに伴い、別添 1 別紙及び別添 2 の柔道整復施術療養費支給申請書 (以下「申請書」という。) の様式第 5 号を下記のとおり改めた。

平成 2 3 年 1 月 1 日以降の申請書は、審査の効率化及び適正支給の迅速化等に資するため、当該様式により扱うこととしたので、関係者に対して周知徹底を図るとともに、その実施に遺漏のないよう御配慮願いたい。

#### 記

別添 1 別紙第 4 章 2 3 (1) 及び別添 2 第 4 章 2 3 (1) 中「又はそれに準ずる様式」を削り、別添 1 別紙の申請書の様式第 5 号及び別添 2 の申請書の様式第 5 号を次のとおり改める。

なお、平成 2 3 年 6 月 3 0 日までの間、従来の様式を取り繕って使用できることとする。

(様式第5号)

# 柔道整復施術療養費支給申請書

平成 年 月 分

都道府県番号	01	施術機関コード	
保険者番号			

公費負担者番号		公費負担医療の受給者番号①		記号・番号	
公費負担者番号②		公費負担医療の受給者番号②		1.協 2.組 3.共 4.国 5.退 6.後期	1.単独 2.2併 3.3併 2.本人 4.六歳 6.家族 8.高一 0.高7 給付割合 10・9 8・7

被保険者 世帯主・組合員の 受給者	氏名	住所
-------------------------	----	----

療養を受けた者の氏名	生年月日	負傷の原因・業務災害通勤災害又は第三者行為外の原因による
1男	1明2大	
2女	3昭4平	年 月 日

負傷名	負傷年月日	初検年月日	施術開始年月日	施術終了年月日	実日数	転帰
(1)						治癒・中止・転医
(2)						治癒・中止・転医
(3)						治癒・中止・転医
(4)						治癒・中止・転医
(5)						治癒・中止・転医

経過	請求区分	新規・継続
----	------	-------

施術日	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
-----	---

初検料 円	初検時相談支援料 円	再検料 円	往療料 km 回 円	金属副子等加算(大・中・小) 円	計 円
加算(休日・深夜・時間外) 円			加算(夜間・難路・暴風雨雪) 円	施術情報提供料 円	計 円

整復料・固定料・施療料	(1) 円	(2) 円	(3) 円	(4) 円	(5) 円	計 円
-------------	-------	-------	-------	-------	-------	-----

部位	遡減%	遡減開始月日	後療料 円 回	冷電法料 円 回	温電法料 円 回	電療料 円 回	計 円	多部位 計 円	長期 計 円
(1)	100	—						—	—
(2)	100	—						—	—
(3)	70	—						0.7	
	100							—	—
(4)	70							0.7	
	100							—	—

摘要	合計 円
	一部負担金 円
	請求金額 円
	※ 円

支払区分 1:振込 2:銀行送金 3:当地払	預金の種類 1:普通 2:当座 3:通知 4:別段	金融機関 銀行 金庫 農協	本店 支店 本・支所	フリガナ 口座 名称 口座 番号	登録記号番号
---------------------------------	---------------------------------------	------------------------	------------------	------------------------------	--------

上記のとおり施術したことを証明します。 平成 年 月 日 所在地〒 施術所名称 電話 柔道 フリガナ 整復師 氏名	受取代理人の欄 平成 年 月 日 住所(上記住所欄と同じ) 被保険者 世帯主 組合員 受給者 氏名
---	---

備考 この用紙は、日本工業規格A列4番とすること。(※は保険者使用欄)

# 新旧対照表

新	旧
<p>別添1別紙</p> <p>第1章～第3章 略</p> <p>第4章 療養費の請求</p> <p>(申請書の作成)</p> <p>23 丁は、保険者等に療養費を請求する場合は、次に掲げる方式により柔道整復            施術療養費支給申請書(以下「申請書」という。)を作成し、速やかな請求に            努めること。</p> <p>(1) 申請書の様式は、様式第5号とすること。</p> <p>(2)～(6) 略</p> <p>24～44 略</p>	<p>別添1別紙</p> <p>第1章～第3章 略</p> <p>第4章 療養費の請求</p> <p>(申請書の作成)</p> <p>23 丁は、保険者等に療養費を請求する場合は、次に掲げる方式により柔道整復            施術療養費支給申請書(以下「申請書」という。)を作成し、速やかな請求に            努めること。</p> <p>(1) 申請書の様式は、様式第5号又はそれに準ずる様式とすること。</p> <p>(2)～(6) 略</p> <p>24～44 略</p>
<p>別添2</p> <p>受領委任の取扱規程</p> <p>第1章～第3章 略</p> <p>第4章 療養費の請求</p> <p>(申請書の作成)</p> <p>23 施術管理者は、保険者等に療養費を請求する場合は、次に掲げる方式により            柔道整復施術療養費支給申請書(以下「申請書」という。)を作成し、速やか            な請求に努めること。</p> <p>(1) 申請書の様式は、様式第5号とすること。</p> <p>(2)～(6) 略</p> <p>24～42 略</p>	<p>別添2</p> <p>受領委任の取扱規程</p> <p>第1章～第3章 略</p> <p>第4章 療養費の請求</p> <p>(申請書の作成)</p> <p>23 施術管理者は、保険者等に療養費を請求する場合は、次に掲げる方式により            柔道整復施術療養費支給申請書(以下「申請書」という。)を作成し、速やか            な請求に努めること。</p> <p>(1) 申請書の様式は、様式第5号又はそれに準ずる様式とすること。</p> <p>(2)～(6) 略</p> <p>24～42 略</p>

